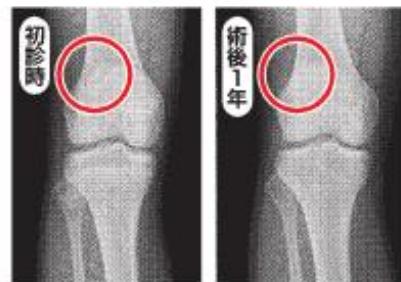
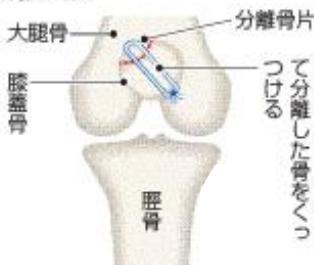


膝蓋骨が二つ(または複数)に分かれている病態で、主にエックス線検査によって診断されます。無症状の場合が多いですが、分裂している影響で痛みを訴える場合、有ります。

分裂膝蓋骨とは、通常一つの膝蓋骨が二つ(または複数)に分かれている病態で、主にエックス線検査によって診断されます。無症

### 超高分子ポリエチレン糸を用いた骨接合術



膝関節の前面にあり、一般的に「お皿」と呼ばれている骨を膝蓋骨といいます。膝の前面を保護し、膝を伸ばす筋肉や腱の動きを強めたり、円滑にしたりする役割があります。

分裂膝蓋骨とは、通常一つの膝蓋骨が二つ(または複数)に分かれている病態で、主にエックス線検査によって診断されます。無症

## 分裂膝蓋骨 どうやって治す

30代男性。膝が痛くなつて整形外科を受診し、エックス線検査を行うと、「お皿の骨が割れています」と言わされました。正式には分裂膝蓋骨と言うようで、米・大リーグで活躍中の大谷翔平選手も手術をしたと聞きました。どんな病態で、どうやって治すことができるでしょうか。



### 回答者

国立病院機構甲府病院スポーツ・膝疾患治療センター  
落合聴司医師



おちあい・さとし  
さん 1997年、山梨医科大(現山梨大学医学部)卒。同大整形外科入局。同科臨床准教授。今年4月から国立病院機構甲府病院副院長。山梨学院ラグビー部チームドクター、日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会評議員。滋賀県出身。

## ストレッチで痛み抑制

病性分裂膝蓋骨と診断されます。成人で分裂膝蓋骨が発生する割合は0・2~0・6%とされ、有病性分裂膝蓋骨と診断されるのはそのうちの約2%です。10代でスポーツをよくする人に多く、男子の方が女子より9倍高く発生しています。

原因は、発育期に、膝蓋骨が一塊にならず形成されなかつた骨化不全説

と、何らかの損傷により分裂に至った外傷説がありますが、定かではありません。

膝蓋骨に筋肉や腱が付着している部分には、運動する際に強いけん引力が生じます。スポーツなどを行つことによつて、分裂骨部に引張る力が繰り返しかかると、痛みを発症します。特に成長期の10代のうちは骨が未発達のうちにけん引力がかかり、負担が大きくなります。筋肉・腱のけん引力を抑えるためのストレッチ指導などを行います。痛みが激しい場合には消炎鎮痛剤を投与します。これらによつても症状が改善しない場合は手術を選択します。

手術は、膝蓋骨に付着する筋・腱を切り離すほか、分離した骨片の摘出や接合、骨癒合を促す骨穿孔術が一般的です。筋・腱付着部の切離術は、分裂した骨片と外側広筋の付着部を剥がして、引張られる力を弱める方法です。分裂した骨片を摘出する方法は、大きな骨片の場合は手術後にへこみができるままになります。分離部にワイヤーを突き通し、生じた出血で骨癒合を促す方法もあります。またさらに負担を減らすため、スクリューで分離部を接合する場合もあり

ます。当センターでは骨に孔を開け、強靭な医療用の糸を通して分離部を接合する方法を開発しました。本手術は短時間で、傷口は小さく済みます。

手術の後は、早期に膝の曲げ伸ばしや歩行訓練などのリハビリを始めます。アスレチックトレーナーの有資格者も多い当院では、きちんとサポートし、スポーツができるようになるまで寄り添います。

### 〈医療・健康に関する質問募集〉

病名や具体的な症状、聞きたいポイント、住所、氏名、年齢、職業を明記し、郵便番号400-8515、甲府市北口2の6の10、山梨日日新聞社文化・くらし報道部「メディカルテラス」係まで。ファックスは055(231)3161。ホームページ「さんにちEye」の総合メール窓口内「メディカルテラス」でも受け付けます。http://www.sannichi.co.jp/

紙上匿名。採用されない場合もあります。